

※解答はすべて解答用紙に記入しなさい。問いに字数の指定がある場合は、句読点や記号も一字に数えて解答すること。

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係上、現時点では掲載しておりません。

著作権の関係上、現時点では掲載しておりません。

(嘉田由紀子／古谷桂信「生活環境主義でいこう!」による)

注(1) 長浜市：滋賀県の琵琶湖に面した地方自治体。

注(2) ビワマス：琵琶湖のみに生息する淡水魚。後に登場するゴリも魚の名称。

注(3) アトラス：地図帳。

問一 線部①～③のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 本文中のA・Bに入れるのに適当な言葉を次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ア では                    イ それに                    ウ けれども                    エ だから

問三 —— 線部(1)のようになったのはなぜですか。それを説明した次の文の [1]・[2] に入れるのに適当な表現をそれぞれ答えなさい。ただし、[1] は二十字以内、[2] は二十五字以内とします。

私たちは [1] のに、[2] から。

問四 —— 線部(2)の中で生まれたものとして当てはまらないものを本文中の……線部ア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

問五 —— 線部(3)の指示する内容を答えなさい。

問六 —— 線部(4)とありますが、それを説明した次の文の [1]・[2] に入れるのに適当な二字の熟語をそれぞれ自分で考えて答えなさい。ただし [1] と [2] は対義語です。

「虫の目」とは、一つ一つの [1] をしっかりと見る視点であり、その視点でたくさんデータを収集して、空から鳥が地上を眺めるように [2] を見渡そうとする視点が「鳥の目」である。

問七 本文では「データへの愛着」という表現が繰り返し述べられています。「データへの愛着」はなぜ必要だと考えられますか。「水質汚濁の客観的な数値をただ与えられるのは異なり、データ収集に参加することで」に続く形で、四十五字以内で説明しなさい。

問八 本文の「生活環境主義」について先生と生徒が話し合いをしました。その話し合いの中の [1]、[2]、[3] に入れるのに適当な言葉をそれぞれ答えなさい。ただし [3] は本文中から八字で抜き出して答えなさい。

先生 本文に出てくる環境に対する三つの主義について、詳しく考えてみましょう。「近代技術主義」は、科学技術を重視して自然環境に接しようとする考え方です。「自然環境保全主義」は、植物や生き物の保護を重視する考え方で、例えば湿地の希少植物を守るために保護区を設けて人の立ち入りを制限するという場合はこの考え方にあたります。

生徒1 では、以前習った河川の治水でいえば、コンクリートで川岸や川底を固めてがっちり堤防を築くというのは「[1] 主義」の考え方ですか。

先生 そうです。「近代技術主義」も「自然環境保全主義」も、自然を人間社会とは別のシステムとしてとらえて、自然を客観的にみて管理するべきものとしています。西洋から生まれた近代科学のものの見方ですね。筆者の立場である「生活環境主義」はどんなものだと思いますか。

生徒2 生活環境というと、人間の生活環境でもあり、生き物の生活環境でもある気がします。本文を読むと、「生活環境主義」は、人と自然とを切り離さずにとらえていると思いました。

生徒3 じゃあ、ホテルダスの調査のアンケートで「子ども時代のホテルの思い出」を聞くことにはどんな意味があるのでしょうか。

生徒2 ホテルを保護したいという考えは「[2] 主義」と似ていますが、本当に継続してホテルを守ろうと思つたら、ホテルが私たちの [3] でつながり続けていなければならないという考え、それが「生活環境主義」だと思います。住民にアンケートをとることで、愛着や共感を感じてほしいのではないのでしょうか。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係上、現時点では掲載しておりません。

著作権の関係上、現時点では掲載しておりません。

著作権の関係上、現時点では掲載しておりません。

(辻村深月「この夏の星を見る」による)

問一 〓 線部①・②のカタカナを漢字に直し、③の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

問二 〓 線部「錯覚を起こす」の意味として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 騒いでいる      イ 勘違いする      ウ 驚いている      エ 共感する

問三 —— 線部(1)とありますが、この時の亜紗の気持ちとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。  
ア ラジオ番組の大人たちに事実を正しく説明する能力があるのかあやしみつつも、気になっていた自分の疑問を解消してくれることを期待する気持ち。

イ ラジオ番組の大人たちに自分が質問をしてみた場合を想像し、たとえ答えてもらっても子どもの自分に理解できるだろうかと不安になる気持ち。

ウ 子どもの質問に対して誠実に答えない大人というものに不信感はあるものの、ラジオ番組の大人たちがどのように応じるのか興味をもつ気持ち。

エ 子どもの質問に対していい加減な答えを返してきた大人を思い出し、ラジオ番組の大人たちも適当な説明でごまかすはずだとあきらめる気持ち。

問四 —— 線部(2)とありますが、この時の亜紗の気持ちを説明した次の文の  ・  に入れるのに適当な表現をそれぞれ答えなさい。

と思っていたが、突然、電話までかかってきたことで、一気に現実味が出て  気持ち。

問五 —— 線部(3)とありますが、この後、綿引先生の話に対する亜紗の感じ方が変化していきます。最初の変化がわかる一文を本文中から探し、初めの三字を答えなさい。

問六 —— 線部(4)とありますが、亜紗はどのようなことに感動したのですか。本文中の言葉を用いて説明しなさい。

問七 本文を読んで表現や内容について生徒が感想を述べています。次の発言のうち、読み取りに誤りを含むものを二つ選び、1～5の数字で答えなさい。

生徒1 亜紗が、知りたいことを本で調べたり、カマキリや友達について気になることを大人に質問したりしているところから、とても探究心のある人物だなと思いました。

生徒2 「子どもみたいな弾んだ声」とか「声がさらに跳ねた」とか、綿引先生の声の様子が細かく表現されていることで、先生が生き生きと話をする姿が、より印象深く感じられます。

生徒3 大人の綿引先生が自分の話に熱中している一方で、子どもの亜紗は「番組の生放送中なのだから」とか「自分が番組の流れを止めるわけにはいかない」とか番組のことを気遣っているところが、立場が逆になっていておもしろいですね。

生徒4 「チガク」という言葉の意味を番組の流れを止めてでも確認するところや、最後の場面で「地学」を「胸に刻むようにして、覚えた」というところから、亜紗にとって綿引先生との出会いが地学に興味をもつ大きなきっかけとなったことがわかります。

生徒5 亜紗が先生に対して大人のようにはっきりとした受け答えをしていたから、先生も小学生の亜紗に対して対等に接することができたのだろうし、亜紗も自分のために丁寧に説明してもらえて嬉しかったんだと思います。

三 (I)

小学六年生の妹尾<sup>せのお</sup>さんは、国語の授業で習ったことや自分で調べたことをもとにして、新聞を作成しています。次の【資料】と【新聞】を読んで、後の問いに答えなさい。

【資料】 授業で習った文章の一部

著作権の関係上、  
現時点では掲載していません。

(野島智司<sup>のじまさとし</sup>「カタツムリの謎<sup>なぞ</sup>」による)

【新聞

## 国語学習新聞

○生き物 1 学ぶ

ーバイオミメティクス(生物模倣<sup>もほう</sup>)とはー

バイオミメティクスとは、生き物が持つ構造や機能などをヒントにして、新たな技術の開発やものづくりに生かす科学技術のことです。たとえば、カタツムリの殻の構造は、住宅の外壁に利用されています。

○暮らしの中に発見!

バイオミメティクス

カタツムリの他にも、バイオミメティクスの例はたくさんあります。その中からいくつか紹介してみましよう。

- ・フクロウの羽の構造をまねた新幹線のパンタグラフ  
↓ 騒音<sup>そうおん</sup>を抑えることができる
- ・蚊<sup>か</sup>の針の形や動きをまねた注射針  
↓ 痛みを少なくすることができる
- ・ヘビの動きをまねたロボット  
↓

### ●まとめ

バイオミメティクスについて調べてみると、予想以上に<sup>⑦</sup>たくさん<sup>⑧</sup>の具体例<sup>⑨</sup>があることに<sup>⑩</sup>驚き<sup>⑪</sup>ました。そしてその中には、すでに実用化されているものもありました。生き物の研究が進めば、さらに便利なものが開発できるかもしれません。身のまわりにはおもしろい生き物がたくさんいるので、私ももっとよく観察してみたいです。

問一 【新聞】の見出しの 1 に入れるのに適当な語を次の中から二つ選び、記号で答えなさい。

ア は イ に ウ と エ から



問二 【新聞】の~~~~線部「住宅の外壁に利用されています」について、妹尾さんは【資料】をもとに、もう少し説明を加えたいと思っています。その内容として**適当でないもの**を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 表面の溝に水が流れて汚れが浮き上がる仕組みであること。
- イ 殻の構造は外壁以外に住宅の内部にも使われていること。
- ウ 大量の水を流すだけでよいので掃除が簡単にできること。
- エ 資源や環境かんきょうに関わる課題を解決する方法の一つとなること。

問三 【新聞】の  に入れるのに適当な表現を【資料】をもとにして答えなさい。

問四 【新聞】の「まとめ」の部分の——線部⑦～⑩を「事実」と「意見」に分けた場合、「事実」に当たるものを一つ選び、記号で答えなさい。

(II)

問一 次の①～④のように三字熟語を作るとき、 に当てはまる漢字一字を「無」「未」「非」「不」からそれぞれ選び、書きなさい。

- ①  可能      ②  常識      ③  解決      ④  関心

問二 ——線部の言葉の使い方が正しいものを次の中から二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 私の弟は、石橋をたたいて渡わたるような慎重しんちゆうな性格で、細かいことを気にしがちです。
- イ 君は初めてピアノを演奏するらしいから、釈迦しゃかに説法だけどしつかり教えてあげるね。
- ウ 父がどれほど話しても、姉は馬の耳に念仏でこの冬休みにまったく勉強しなかった。
- エ 情けは人のためならずというから、彼のことを思って厳しく注意してあげよう。

問三 次の①・②について、 に共通して当てはまる漢字一字をそれぞれ答えなさい。

- ①  を疑う       につく       を光らす       が回る
- ②  と油       に流す       をさす       を向ける

